

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	建築一体化空調小委員会		主 査 名：石野久彌 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (建築設備運営委員会)		委員長名：加藤信介 主 査 名：川瀬貴晴
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	建築一体化空調の設計指針の提案と建築・設備教育の提言のために、 (2005-2006 年度) 各種建築一体化空調システムの設計事例・研究事例の収集、性能分析、教育事例収集 (2007-2008 年度) 事例紹介・設計法・理論に関する最新情報を発表する出版物「建築一体化空調」の具体的内容の作成・検討、新時代の設備技術者を育てるための建築・設備教育法の提言案の作成・検討		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り 石野久彌(首都大東京)、羽山広文(北海道大)、郡公子(宇都宮大)、猪岡達夫(中部大)、宇田川光弘(工学院大)、川瀬貴晴(千葉大)、近藤靖史(武蔵工業大)、下正純(竹中工務店)、長井達夫(大阪市立大)、丹羽勝巳(日建設計)、丸山純(松田平田設計)、柳井崇(日本設計)、柳宇(国立保険医療科学院)、吉牟田圭一(日比谷総合設備)、龍有二(北九州市立大)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s10/">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s10/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし。ただし、出版物として「建築一体化空調」をまとめることを目指し、取り上げる手法の項目の検討、設計事例・研究事例収集を行った。また、ホームページで審議内容を公開した。
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし。ただし、2006 年度にシンポジウム「建築一体化空調の設計技術と性能評価(仮称)」を開催するため、事例収集と性能分析を進めた。
大会研究集会	なし。ただし、オーガナイズドセッション「性能評価としての環境実測」を提案し、11 編の発表論文を得て、活発な議論を行った。
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各種建築一体化空調手法を盛り込んだ設計事例 4 件およびクールチューブ、躯体蓄熱の設計法と性能について分析した。達成度は 90%。 2. 建築設備教育のカリキュラムや授業内容を収集し討議した。達成度は 85%。
委員会活動の問題点・課題	委員会出席のための旅費不足の点と、更なる活動活性化を考え、WG による地区別活動を多用してみることにする(寒冷地用建築一体化空調 WG、蒸暑地用建築一体化空調 WG、出版物検討 WG などの設置を検討中)。